

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Aコート	第1試合 9:00~													
<チームA> 湘南工科大学附属 神奈川 2位		78 { <table border="0"> <tr><td>19</td><td>1Q</td><td>30</td></tr> <tr><td>18</td><td>2Q</td><td>25</td></tr> <tr><td>23</td><td>3Q</td><td>28</td></tr> <tr><td>18</td><td>4Q</td><td>26</td></tr> </table> } 109	19	1Q	30	18	2Q	25	23	3Q	28	18	4Q	26	<チームB> 八王子 東京 1位		
19	1Q	30															
18	2Q	25															
23	3Q	28															
18	4Q	26															

【Aブロック】

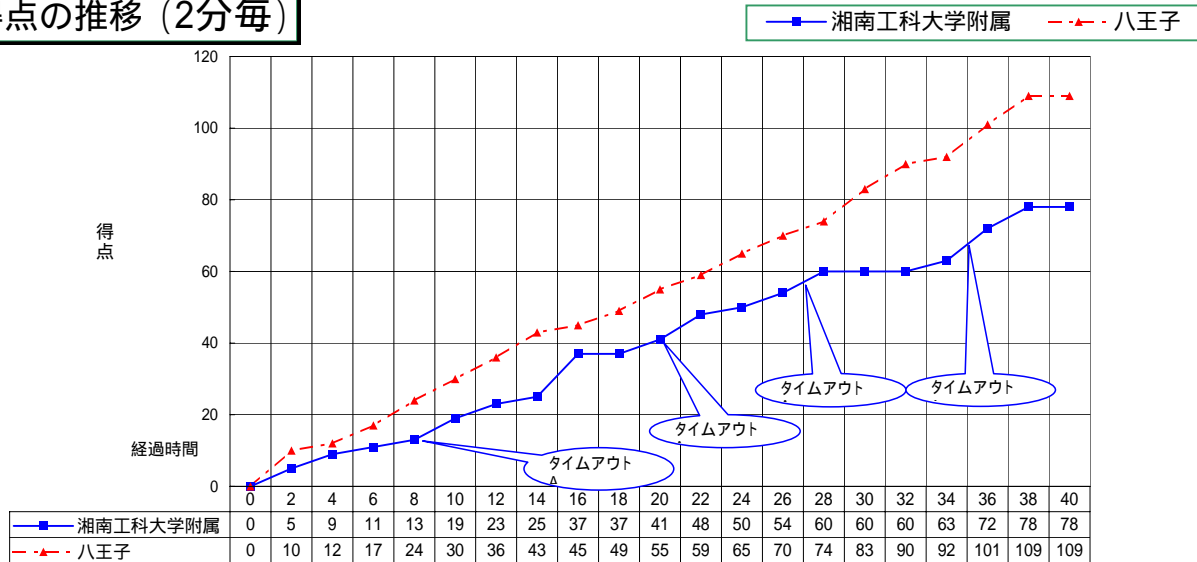
主審：渡邊 整(栃木) 副審：佐藤 賢祐(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	岸 涼太	25	2	8	3	2
	5	野添 駿					
	6	大野 将司	15	2	3	3	2
	7	藤原 克矢	8		4		5
	8	田中 啓介					1
	9	菊地トレイシー	6		3		3
	10	三嶽 大輔					1
	11	伊藤 勇輝	6		3		1
	12	石井 涼	2		1		1
	13	小野 稜祐					
	14	二挺木 勇司					
	15	小野 正樹	3	1			2
	16	三角 智生	7	1	2		4
	17	大畑 岳	4		2		
	18	中村 一帆	2		1		1
コーチ		横山 秀夫					
合計			78	6	27	6	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	板垣 祐輔	4	1			1
	5	小宮山 怜宇	11	1	3		2
	6	千葉 俊一	3	1			1
	7	エルハジ・ゴールギ・ワドゥ	45		20		5
	8	中島 一海	4		2		1
	9	橋本 貴智	5	1	1		2
	10	岡部 奨	12		6		1
	11	佐藤 弘樹	9		3	3	
	12	本多 祐二					1
	13	東城 皓太					1
	14	檜原 慈温	6		3		
	15	岩崎 大樹	9		4	1	
	16	五百部 浩志	1			1	
	17	高橋 賢					2
	18	根岸 敬之					
コーチ		石川 淳一					
合計			109	4	42	13	

：スターター / ：出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦 評

記入者： 追田 康晴

湘南工大はオールコートマンツーマン、八王子は1-3-1のゾーンディフェンスでスタート。八王子は序盤からワドゥの身長を活かしたプレーで攻める。湘南はドライブインから逆サイドに展開しての3Pシュートなどで応戦する。最初に流れをつかんだのは、上空を制した八王子。ワドゥの安定したポストプレーとワドゥに代わって 岡部が入ってからインサイドからの攻めを基本に加点して行く。一方湘南は、ディフェンスをオールコートゾーンプレスに変えプレッシャーをかける。パスミス誘発させ速攻を狙いたいと思うようにオフェンスのリズムをつくれぬ。30-19と八王子リードで第1P終了。

第2P、湘南は積極的に走り、反撃を試みる。相手のミスにつけこみチャンスを得る機会が度々あったが、シュートミスが目立ち得点を伸ばすことができない。一方八王子は、ワドゥを起点として、古屋の3Pシュートなどガード、フォワード陣の外からのシュートなど中外をバランスよく貪欲に攻める。八王子がリードを広げ55-37で第2P終了。

第3P、八王子 ワドゥはベンチスタート。しかし、岡部 岩崎を中心としたスピーディーな攻撃を展開し、インサイド、アウトサイドからシュートを沈めていく。流れを変えたい湘南であったが、八王子のプレッシャーの強いディフェンスを崩せず、苦しいシュートを余儀なくされる。結局湘南はゲームの主導権を奪えず、83-60と八王子リードは広がり第3P終了。

第4Pに入り、攻撃の手を緩めない八王子に対して湘南は 大野の3Pシュートや 岸のドライブインで応戦するが、オフェンス、ディフェンスリバウンド支配率の勝る八王子が勝利し、2回戦に駒を進めた。